

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	The time density curve of dynamic contrast-enhanced computed tomography correlates with histological characteristics of pancreatic cancer 膵癌の造影ダイナミックCTにおける時間濃度曲線と病理組織学的特徴との関連に関する後ろ向き研究		
2. 対象患者	2012年1月1日から2018年3月31日までの間に、膵癌と診断され弘前大学消化器外科で手術治療された患者様を対象とします。		
3. 対象となる期間	2012年1月1日 ~ 2018年3月31日		
4. 実施診療科等	病理生命科学講座・消化器外科		
5. 研究責任者	氏名	後藤 慎太郎	所属 病理生命科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	ありません		
7. 研究の意義	膵癌においては、造影ダイナミックCT(造影剤を用いて数分おきに撮影したCT画像)の特徴と、病理学的な特徴(腫瘍内の血管密度)との関連性についての研究は殆ど行われていません。これを検証することによって、膵癌の生物学的な悪性度を、身体を切開して細胞を採取すること無く、放射線画像から予測できる可能性が期待されます。		
8. 研究の目的	膵癌の造影ダイナミックCTから得られた時間濃度曲線(腫瘍の造影効果の経時的変化)が、膵癌の病理標本から得られた腫瘍内の血管密度などのデータと相関するかを検証します。また、これらの結果が実際の患者さんの予後と関連するかどうかを検証します。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合は方法等)	弘前大学病院に保存されている膵癌の手術標本(病理標本)、造影ダイナミックCT画像、患者様のカルテから得られた臨床情報(年齢、性別、腫瘍の広がりや予後の情報など)を使用します。造影ダイナミックCT画像と病理標本から得られた画像情報をコンピューター上で処理し、その結果を統計的に解析します。さらに、これらの結果が予後とどのように相関するかを統計的に解析します。		
10. 個人情報の保護	病理標本、画像情報、症例報告書は、いずれも患者様の個人情報とは無関係の本研究用の登録番号を付して管理を行い、秘密保護に十分配慮いたします。また、研究結果を公表する際には個人を特定できる情報を一切含まないよう配慮します。拒否の申し出があった場合は研究対象から除外し、データを削除します。ただし、既に研究結果公表済みの場合はデータを修正することはできませんので、ご了承下さい。		
11. 利益相反に関する状況	開示すべき利益相反関係にある企業・法人組織や営利を目的とした団体はありません。		
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科病理生命科学講座 助手 後藤慎太郎		
	電話	0172-39-5029	FAX 0172-39-5030